

## 第1回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、2月27日、午後1時31分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

児童手当等支給事業費について、子ども手当から児童手当に制度が変わったことで、給付対象者の把握が難しかったということだが、制度の内容がどのように変わって、見込み違いになったのか。とに対し、

制度そのものが、平成22年3月までは児童手当、同年4月から子ども手当に変わり、平成23年10月からは年齢区分等に応じた支給金額になりました。その後、平成24年4月には、再度児童手当となり、同年6月からは保護者の所得制限も導入され、手当の金額が変わる制度になりました。このような制度変更が繰り返される中で、平成25年度は当初予算を作成するまでの半年の実績で積算したため、見込みが実績を下回ったものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員もって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第7号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

国民健康保険事業総務管理事務費について、実績報告書等作成ソフト委託料とあり、システムのバージョンアップという説明があったが、どのような内容か。とに対し、

最新の機器に対応するため、容量を増やすなど、機能向上を図る必要があるためです。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第8号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

介護サービス給付費について、中・重度者が90人増加と見込んでいたところ、実際は9人の増加にとどまっているが、どのような要因によるものと考えているか。とに対し、

高齢者のうち、サービスの対象となりやすい後期高齢者の増加数が例年より少なかったことが要因と考えています。また、半田市が実施している介護予防施策の効果もあったのではないかと考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。